

2016年度 第31回日本クラブユースサッカー(U-15)選手権大会 奈良県大会

大会要項・規定

- 1 主旨 (一社)奈良県サッカー協会及び奈良県クラブユースサッカー連盟は、日本の将来を担うユース年代の少年達の、サッカー技術の向上と健全な心身の育成を図るとともに、クラブチームの普及と発展を目的とし、連盟第3種加盟登録チームの全てが参加できる大会として実施する。
- 2 名称 第31回 日本クラブユースサッカー(U-15)選手権大会 奈良県大会
- 3 主催 (一社)奈良県サッカー協会 奈良県クラブユースサッカー連盟
- 4 主管 奈良県クラブユースサッカー連盟
- 5 協賛 モルテン
- 6 期日 2016年4月9日(土)～2015年5月8日(日)
- 7 会場 県内各会場を予定
- 8 参加資格 (公財)日本サッカー協会に第3種加盟登録し、なお且つ日本クラブユースサッカー連盟に2016年3月31日(木)までに加盟登録したチームであること。
 1. 出場選手は他のクラブチーム及び中学校サッカー部などに二重登録されていないこと。
 2. 出場チームは11名以上の第3種年代の登録選手でチーム構成されていること。
 3. 有資格審判員を2名帯同する事。
 4. 選手は、2016年3月31日(木)までに登録されていること。また、(財)日本サッカー協会発行の写真付き選手証(もしくは登録証明証)を所持していること。カラーコピーもこれを認める。
 5. 出場チームの同一下部組織第4種(JFAクラブ申請済みクラブ)登録選手に限り、種別変更(移籍)せずに出場することができる。同じクラブ内の同じ年代の女子選手の出場を認める。但し、第4種登録チームからの登録は5名、1試合での最大出場3名までとする。試合当日にJFAクラブ申請【回答】の写しを提出すること。【回答】が間に合わない場合は、申請書の写しとする。
 6. 大会登録(エントリー)は15名以上30名以内とする。
- 9 表彰 優勝チームには優勝杯(奈良県クラブユースサッカー連盟クラブ杯)を授与し、次回までこれを保持せしめる。優勝以下第3位及び、フェアプレー賞に表彰状を授与する。
フェアプレー賞:本大会においてフェアプレー精神の育成・向上のために選考基準に従いフェアプレー賞を授与する。
フェアプレー賞は、チーム単位とし、ベスト4以上のチームから選考し、賞状及び副賞を授与する。同ポイントで並んだ場合は、上位チームを優先する。
- 10 参加費 1チーム ¥15,000円(※2016年3月末日までに奈良県クラブユース連盟の口座に振り込んでください。)
※①2次L進出チームは、5,000円を追加徴収します。
※②2次Lから出場するチーム()については、決勝リーグに進出した場合に5,000円を追加徴収します。
※③追加徴収分については、大会終了までに連盟口座へ振り込んでください。
- 11 競技方法
 - 1) シード2チーム(新人大会上位2チーム)を除く12チームをA～Cの3グループに分け1次リーグを行い、各グループの上位2チームが2次リーグに進出する。
 - 2) シードチームを含めた8チームをD、Eの2グループに分け2次リーグを行い、各グループの上位2チームが決勝トーナメントに進出する。
 - 3) 各グループ上位2チーム(4チーム)により決勝トーナメントを行い、優勝、準優勝、第3位の3チームに関西大会出場権を与える。
 - 4) 試合時間は、70分(ハーフタイム10分)とし、競技時間内に勝敗の決らない場合は引き分けとする。
 - 5) 各グループのリーグ戦の順位決定は以下のとおりとする。
 - ①: 勝点は、勝ち=3点 引分け=1点 負け=0点とし、勝点の多い方を上位とする。
 - ②: 勝点と同じ場合は得失点差の多い方を上位とする。
 - ③: 得失点差が同じ場合は得点の多い方を上位とする。
 - ④: ③で得点も同じ場合は当該チーム同士の対戦結果にて決定するが、なお引分けの場合は抽選とする。尚、ピッチ上に当該チームがいる場合は、PK方式で決定する。
- 12 競技規則
 - 1) ルールは日本サッカー協会競技規則2016/2017による。
 - 2) 選手メンバー用紙は、試合開始30分前に会場本部へ2部提出する。
大会登録(エントリー)は15名以上30名以内とし試合ごとに14名までの交代を認める。
試合開始までの時間に、怪我など特別な理由により登録されたメンバーが当該試合へ出場することが不可能であると、当該試合競技責任者が判断した場合のみエントリー内容を変更することが出来る。
なお、各試合の登録後、一度退いた選手が再度出場できる自由な交代は実施しない。
 - 3) 警告・退場について
大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
退場を命ぜられた選手は、次の1試合に出場できない。その後の処置については大会規律委員会にて決定する。
なお、各リーグにおける警告処分は次リーグへ持ち越さない。但し、各グループリーグにおける出場停止処分が未消化の場合は、次リーグに持ち越され適応される。
(例)リーグ最終節に累積2枚目の警告を受けた選手は、次リーグ初戦に出場できない。

- 4) 出場する選手は、(財)日本サッカー協会発行の選手証(もしくは登録証明書)を提示し、確認を受ける。選手証の不携帯もしくは、写真を貼っていない場合は出場を認めない。カラーコピーでの携帯も認める。
- 5) ユニフォームは色違いのものを2種類用意する。同系統色が重なった場合、コイントスにより一方のチームにユニフォームの変更を求める。また、ユニフォームの下に着用するアンダーシャツについては、ユニフォームの主たる色と同色とする。
- 6) 参加資格の違反、不都合な行為があった場合の処置については、大会規律委員会にて決定する。
- 7) チームベンチへの入場は、スタッフ5名以内、選手30名以内とする。
- 8) チームベンチは、会場本部からグラウンドに向かって左側をプログラム【競技日程】の左側に表記されているチームのベンチとし、対戦チームを右側とする。
- 9) 大会期間中の傷害及び疾病に対して、主催者は責任を負わない。試合会場では、応急処置は行すが、それ以降は各チームにて処置すること。各チームの責任において、参加者全員がスポーツ安全保険に加入していること。
- 10) 棄権については不戦勝チームに勝点3を与え、スコアは5対0とする。ただし得失点差で順位の変動ある場合は、不戦敗チームとの成績をはずして順位を決定する。
- 11) 日没、雷等により試合続行が不可能と判断された場合は、サスペンデッドゲームとし、後日試合を中断する前の状態から再開する。したがって、両チームの出場メンバーは原則として変更する事ができない。但し、中断前の試合で出場していた選手が続行試合当日に怪我や疾病などを理由に出場できない場合など不可抗力による選手交代は交代メンバーの中で認められる。尚、雷等の場合、中断時間は60分を目安とする。その判断は、主審が会場責任者と協議の上、決定する

13 付記

- ① エントリーメンバー票の提出は、自チームの初戦時に各会場の第1試合開始までに2部提出する。会場責任者が捺印し、1部は本部で持ちまわり、もう1部はチームで保管する。初戦の選手登録用紙は捺印の無いものでも可能とし、大会2戦目以降は認めない。
- ② 試合開始の予定時刻に規定人数(11名以上)に達していない場合は不戦敗とする。
- ③ ユニフォームの広告表示については、日本協会「ユニフォーム規定」に基づき、承認された場合のみ、これを認める。
- ④ ユニフォームのシャツ全面・背面にエントリーメンバー票に記入した番号を付けること。ショーツの番号については付けることが望ましい。
- ⑤ 試合球は、JFA公認5号球の新球を用意する。
- ⑥ 審判は、必ず審判服を着用すること。また、主審は審判報告書を作成し、審判委員長まで提出すること。審判は有資格者であり、審判証を携帯し、提示すること。(審判服の右袖に、リスペクトワッペンを付けてください)
- ⑦ 各チーム代表者1名は、第1試合開始1時間前に本部に集合し、打ち合わせを行うこと。
- ⑧ 試合毎にマッチコーディネイターを1名おく。(第4審が兼ねても良い)

14 抽選会

日時 3月 6日(日) PM19:00～
会場 斑鳩ホール 会議室

15 補足

- ・ 各会場に会場責任者を1名ずつ置く。
- ・ 大会規律委員会とは会長、副会長、理事長、副理事長の計4名で運営する。
- ・ 決勝リーグの運営は2次リーグ敗退チームで運営する。
- ・ 決勝リーグの審判について1次・2次リーグ敗退チームに依頼する場合がある。
- ・ メンバーチェックは、大会初日に30名登録選手証をチェックし試合毎に先発メンバーの11名が選手証チェックを受ける。以後の交代選手は、随時チェックを受ける。(選手証は本部で預かる)
- ・ 保護者の観戦場所、選手の応援場所はスタンドがない会場については基本的に本部及びベンチの反対側とする。その他、各会場のルールに則り決定する。(メガホンや鳴り物による応援は、本部・ベンチの反対側とする)
- ・ 会場の美化にご協力お願いいたします。特に喫煙につきましては、くれぐれもルール遵守でお願いいたします。(保護者の方々へもアナウンスをお願いいたします)